

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス88 Inazawa		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年3月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・LEGOブロックを使用したプログラミングを行っている。	・職員がお子様と1:1で対応する時間を確保している。 ・自由に制作を楽しみ、発想力育んでいる。	・今後も様々なお題をに対して作成を行い、細かなブロックを扱うことで指先の運動も行っていく。
2	・日々のプログラムの内容を工夫し、年代に合わせた支援を行っている。	・放課後等デイサービスのお子様と一緒に活動を行うが、それぞれの発達状況に合わせた内容を準備して、支援している。 ・職員同士で利用者の情報共有を行い、日々改善を行っている。	・お子様の成長に合わせて活動の内容をアップデートしていく。 ・日々職員で話し合いを行い、活動内容の改善点を見つけ、改善を行っていく。
3	・全職員へ定期的な面談を行い、意見や悩みを積極的に業務改善を行っている。	・職員が意見を発しやすい環境をつくり、上長や代表と面談を実施している。	・面談する機会を増やし、業務改善や更なる風通しの良い職場環境づくりを強化していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の園や事業所などとの連携や交流が出来ていない。	・地域の活動の情報収集や周知活動が十分に行えていないため。	・地域の保育園、幼稚園、相談支援事業所等へ積極的に挨拶・情報提供を行う。 ・地域行事や研修会へ参加し、顔の見える関係づくりを進める。
2	・ご兄弟やご家族様向けのイベントなどが実施出来ない。	・日々の療育支援を優先しており、家族参加型行事の企画まで十分に手が回っていないため。	・長期休暇期間等を活用し、家族参加型イベントを企画する。 ・アンケートを実施し、ニーズを把握したうえで小規模から実施していく。
3	・職員の専門性向上に向けた体系的な研修計画をさらに充実させる必要がある。	・個別での研修参加は実施しているが、年間計画としての体系化が十分ではないため。	・年間研修計画を策定し、必須研修・専門研修を明確化する。 ・研修受講後の所内共有を仕組み化し、組織全体の支援力向上を図る。